

リーディングDXスクール事業【実践事例】

佐世保市立大野中学校【指定校】

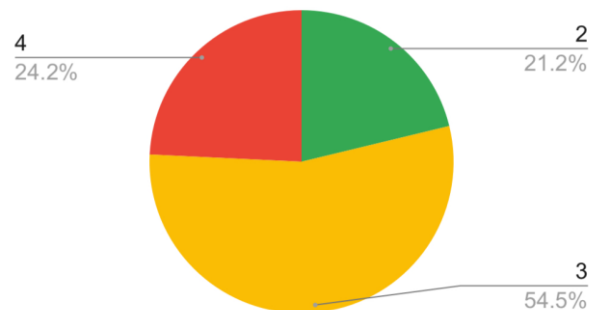
【取組内容】 校内研修を通してICT機器の活用を意識づける

【指定校の努力目標として掲げた実施内容】

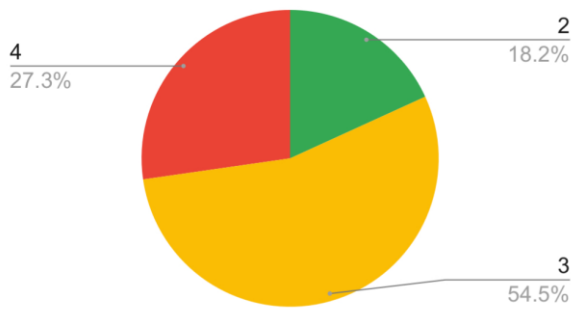
4月当初は、教科指導や校務、学級経営等における職員のタブレットの利活用は十分ではなかった。そのため、本年度は7割以上の職員が前年度と比較してICT機器を意識的に活用できるようにするために、前述の校務DXに関する取組に加え、ICT機器活用に関する校内研修を行った。

具体的には、「ICTの効果的な活用」を視点とした授業研究や外部講師を招いての現職教育、ドリルソフトの活用方法についての伝達講習を行った。その結果、教科指導・校務におけるICT機器の活用については約8割の教員が活用の意識を高めており、昨年度と比較した際、「ICTを効果的に活用できた」と回答した職員は、7割以上という目標を達成することができた。

①教科指導におけるICT活用への意欲が高まった。



①校務においてICT活用の場面が増えた



①昨年度と比較し、ICTを効果的に活用できた。

